

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

資料配付先

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省
交通運輸記者会、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、
神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ

令和元年10月9日
近畿地方整備局 防災室

和歌山県、大阪府で南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災総合訓練 ～11月2日、約130機関が参加し、陸海空にわたる大規模な実動訓練を実施～



地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図るため、国土交通省は「津波防災の日」「世界津波の日」にあわせ、大規模津波防災総合訓練を実施しています。

今年の訓練は、11月2日に、和歌山県和歌山市をメイン会場に、大阪府堺市、和歌山県すさみ町及び美浜町の4会場で訓練を実施します。

訓練では、陸海空にわたる国土交通省 TEC-FORCE や警察、消防、自衛隊、海上保安庁等による実動訓練や、地元総領事館も参加する避難訓練などを予定しています。

○ 概要

大規模津波防災総合訓練は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震を契機に始まり、今年で14回目の開催となります。

訓練では、南海トラフ巨大地震を想定し、住民等による避難訓練、TEC-FORCEの広域派遣や自衛隊と連携したTEC-FORCE輸送訓練、緊急排水活動訓練、道路・航路啓開訓練、警察、消防、自衛隊、海上保安庁による救命・救助活動訓練等の実践的な訓練を実施します。

また、「世界津波の日（11月5日）」の趣旨を踏まえ、国際的な取り組みとして、地元総領事館が参加する避難訓練やJICA研修員による訓練の視察、「稲むらの火の館」*による津波防災啓発の取り組みなどを予定しています。

*1854年（安政元年）安政南海地震による大津波の時、命をかけて村民の命を救った濱口梧陵の偉業と精神、教訓を学び受け継ぐために建設された、和歌山県広川町にある津波防災教育施設



排水ポンプ車による緊急排水



ヘリコプターによる孤立者救助

1. 訓練日時 令和元年11月2日（土）9:00～12:00
2. 訓練開催場所 メイン会場：和歌山県和歌山市（和歌山下津港西浜地区）
サテライト会場：大阪府堺市（堺泉北港堺2区基幹の広域防災拠点）、
和歌山県すさみ町（すさみ防災基地）、美浜町（松原地区高台）
3. 主催 国土交通省、大阪府、和歌山県、堺市、和歌山市
4. 参加機関 国、地方公共団体、公共機関等 約130機関
5. その他 訓練開催場所、訓練の内容等については、別添パンフレット、HP（<http://www.tsunamibousai2019.jp>）を参照願います。

【取材について】

別途、訓練等の詳細が決まり次第、取材方法の詳細について発表します。

○問い合わせ先

【訓練全般】

水管理・国土保全局防災課災害対策室
課長補佐 天野 聡
災害対策係長 松本 幸一
代表 03-5253-8111（内線35762、35834）
直通 03-5253-8461
FAX 03-5253-1608

【訓練内容】

近畿地方整備局防災室
室長 木村 佳則
室長補佐 土谷 宏巖
代表 06-6942-1141（内線2151、2153）
直通 06-6942-1575
FAX 06-6944-4741